

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	NO.2-1(右岸)			調査位置				北緯	36° 32' 36.0000"		
発注機関	栃木県鹿沼土木事務所			調査期間	2007-12-26 ~ 2008-03-21			東経	139° 41' 28.0000"		
調査業者名				主任技師				現場代理人	コア鑑定者		
孔口標高	167.44 m	角		方向		地盤勾配		使用機種	試錐機		
総掘進長	8.05 m	度	0°					エンジン	ハンマー 落下用具 ポンプ		

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試験番号	採取方法	室内試験	掘進月日
											深度 (m)	10cmごとの 打撃回数			貫入量 (cm)						
												0	10	20							
(m)	(m)	(m)									(m)	10	20	30							

166.590.850.85

163.493.103.95

162.590.904.85

159.393.208.05

暗褐

暗褐灰

暗褐灰

暗灰

礫混りシルト (M-G)

礫混り粘性土 (C-G)

風化頁岩 (Sh)

頁岩 (Sh)

上位、腐植土主体。
礫径10から20mm混入。含水比は下位から中位。

火山灰質粘土主体。
スコリア混じる。
含水比は下位から中位。
礫径10から25mm混入。
全体的に軟質となるが3.7mより固結する。

コア長15から40cm主体。
全体に亀裂多く粘土化する。
含水比は高位。岩は軟質となる

コア長5から23cm主体。
全体に亀裂多い。
含水比は中位から高位。
砂岩層を挟む。
6.15から6.25m、岩片状となり、
亀裂部風化変質。
6.25mより非常に硬質、コア長12から30cmの短柱状コア主体。
全体に無数の亀裂多く入り、所々表層部若干軟化する。

02/18
4.64
22

1.151714231

2.152212234

3.151795331

4.152675017

5.00506506

6.00506506

7.004504

8.005505

N

値

01020304050

2

2

3

>50

>50

>50

>50

>50

02/16

02/18